

2023年 1月11日

東京電力ホールディングス株式会社

## 原子力事業者防災業務計画の修正（案）について

福島第一、福島第二および柏崎刈羽原子力発電所 原子力事業者防災業務計画について以下の通り修正する。

なお、前回（2022年12月22日）説明不足であった『2. 緊急時モニタリングセンター等への派遣要員数の変更』について再説明を実施する。

### 1. オンサイト医療活動の修正

オンサイト医療活動として、公益財団法人原子力安全研究協会を含む医療関係団体との連携内容を追記する。なお、福島第一は救急医療室が整備され医師および関係者が24時間常駐しており医療体制が充実していることから現行の医療体制を反映する。

### 2. 緊急時モニタリングセンター等への派遣要員数の変更

緊急時モニタリングセンター運営要領の制定に基づき、緊急時モニタリングセンター（以下、EMC）及びオフサイトセンター（以下、OFC）に派遣する保安班の人数及び配置を以下の通り変更する。

原子力防災要員の職務	福島第一	福島第二	柏崎刈羽
原子力災害合同対策協議会における原子力緊急事態に関する情報の交換、緊急事態応急対策及び原子力災害事後対策についての相互の協力	人数：2名以上(変更なし) 配置：OFC→EMC	人数：2名以上(変更なし) 配置：OFC→EMC	人数：2名以上(変更なし) 配置：OFC（変更なし）
原子力事業所内外の放射線量の測定その他の特定事象に関する状況の把握	人数：10名以上→2名以上 配置：OFC→EMC	人数：10名以上→2名以上 配置：OFC→EMC	人数：5名以上→6名以上 配置：OFC→EMC
放射性物質による汚染の除去	人数：5名以上→2名以上 配置：OFC→EMC	人数：5名以上→2名以上 配置：OFC→EMC	人数：5名以上→2名以上 配置：OFC（変更なし）

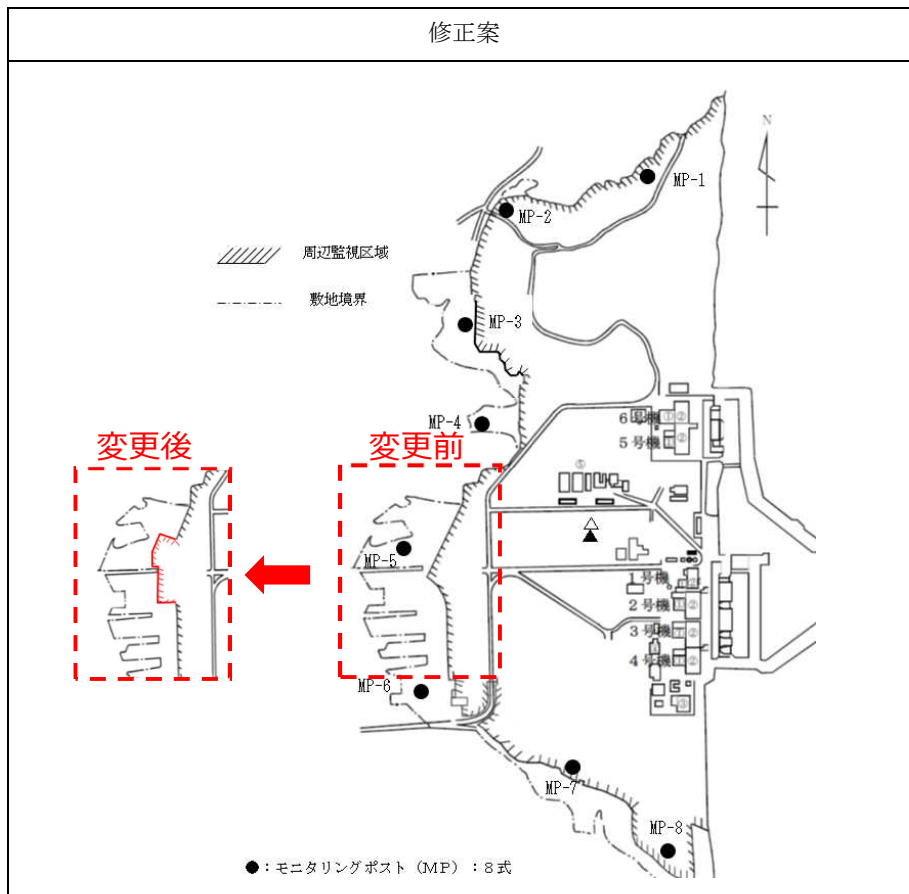
### 3. 事業所外運搬 EAL (XSE61, XGE61) の記載適正化

事業所外運搬 EAL『事業所外運搬での放射線量率の上昇（異常上昇）』について、  
『原子力災害対策特別措置法に基づき原子力防災管理者が通報すべき事業所外運搬に係る事象等に関する命令』と相違があったことから以下の通り修正する。

EAL	修正案（下線部を追記）
XSE61 事業所外運搬での放射線量率の上昇	<p>事業所外運搬に使用する容器から1メートル離れた場所において、<math>100\mu\text{Sv/h}</math>以上の放射線量が主務省令で定めるところにより検出されたこと。</p> <p>主務省令で定めるところとは「原子力災害対策特別措置法に基づき原子力防災管理者が通報すべき事業所外運搬に係る事象等に関する命令第2条第1項」を指す。令第4条第4項第4号の規定による放射線量の検出は、火災、爆発その他これらに類する事象の発生の際に検出することとする。</p> <p><u>なお、火災、爆発その他これらに類する事象の状況により放射線量の測定が困難である場合であって、その状況に鑑み、上記の放射線量の水準が検出される蓋然性が高い場合には、当該放射線量の水準が検出されたものとみなす。</u></p>
XGE61 事業所外運搬での放射線量率の異常上昇	<p>事業所外運搬に使用する容器から1メートル離れた場所において、<math>10\text{mSv/h}</math>以上の放射線量が主務省令で定めるところにより検出されたこと。</p> <p>主務省令で定めるところとは「原子力災害対策特別措置法に基づき原子力防災管理者が通報すべき事業所外運搬に係る事象等に関する命令第2条第1項」を指す。令第4条第4項第4号の規定による放射線量の検出は、火災、爆発その他これらに類する事象の発生の際に検出することとする。</p> <p><u>なお、火災、爆発その他これらに類する事象の状況により放射線量の測定が困難である場合であって、その状況に鑑み、上記の放射線量の水準が検出される蓋然性が高い場合には、当該放射線量の水準が検出されたものとみなす。</u></p>

### 4. 周辺監視区域の変更に伴う見直し【福島第一のみ】

福島第一原子力発電所の周辺監視区域が変更になったことから関連する構内図を以下の通り修正する。



## 5. 前回届出以降に提出した連絡文書（SPDS（ERSS）伝送開始に伴う読み替え）の反映

福島第一 5, 6号機および福島第二 1～4号機, 柏崎刈羽 1～6号機の SPDS（ERSS）伝送項目『使用済燃料プール水位』の伝送開始に伴って読み替えしている以下の内容を反映する。

読み替え文書の内容（例：福島第一 5号機）

読替前			読替後		
No.	常時伝送項目	単位	No.	常時伝送項目	単位
-	使用済燃料プール水位	mm	42	使用済燃料プール水位	mm
・No. が「-」のパラメータは、追加工事完了後に伝送を開始する。					

## 6. その他

記載適正化

以 上